



冠水（湛水）排水対策 計画の進捗状況は

米村 洋 議員

議員 ゲリラ豪雨による短時間雨量の増加、道路や排水路の整備による洪水到達時間の短縮や氷川排水機場の経年劣化と機能低下などにより、野津・島地・鹿島・鹿野・網道地区の冠水面積は600から700ヘクタールが想定される。今後の農業経営は、基幹作物がハウス施設栽培に変わり、安全安心な作付がおこなわれるためには冠水対策は急務である。

議員 排水対策事業をどのように進める考えか。
農地整備課長 平成22年度に排水不良の原因を究明するための調査を町が行い、平成23年度には県が事業を進めるための調査を行いました。その結果、現在の氷川排水機場は経年劣化による老朽化がみられ、湛水防除事業が排水対策特別事業による整備が示されました。町では、排水対策検討委員会を立ち上げ、今の排水機場を最大活用し、規模の大きい排水機場を新たに設置し、上流域の排水を処理するため中流

域で排水機場の新設案を県に要望していくことで決定しました。平成26年に計画策定を終了し、平成27年度に事業採択・着工に向けたスケジュールを考えています。現在の排水機場は、毎秒14mの排水能力がありますが、新設する排水機場は約27mの排水能力がなければ冠水被害は防げないと思っています。事業予算は27億円から32億円を考えています。
議員 この事業は県が事業主体となるもので、県も積極的に協働体制を築いてこの事業を実現させたいという姿勢にある。この事業の負担割合は、国50%、県25%、地元負担分については合併特例債を発行して、受益者負担なしで事業を推進して頂きたい。
町長 この事業は、何が何でもやらなければならぬこと、一刻の猶予もないという状況です。負担割合は、農家の現状も踏まえ、負担が少な

いことではあります。これまでの事業との関連も精査してしっかりと進めて行きたいと思っています。
議員 過去に、沖塘排水機場、氷川排水機場の設置において、受益者負担なしという例がある。排水対策においては受益者負担の例はなく、今回も受益者負担なしの事業推進を要望し、住民生活、露地野菜、ハウスなど安全安心な無湛水化の排水対策特別事業をお願いします。
議員 対等合併の精神は生かされているか。合併協定書の達成状況はどうか。
総務課長 二町間に優劣が生じないように合併協議会を設置し、両町から選出された委員により多くの時間をかけて39項目にわたる事務事業の調整を行ってきました。調整は対等合併を念頭に進められ、その精神は

成などの環境整備も行っています。
合併十年に向かって小さな合併の検証についてはしっかりと行わなければなりません。来年度、事務事業や職員定員管理などの行政評価に取り組みたいと思っています。
議員 合併十年の節目に町長からの行政評価を行うとの答弁を頂きました。今回、国の施策が大きく舵を変えようとしています。道州制の導入により単位自治体を十万人以上にし、いずれ八代市に権限を町から吸い上げられることも考えられます。少なくとも二年は頑張った小さな合併の中身を検証してもらいたい。
私は、高齢者福祉について地域の高齢者は、地域で支える流れではなく、行政が主体となって地域の方に応援してもらおう方法が必要ではないかと思っています。どこに主体性を持たせるかなども検討して頂きたい。
私は、この二年間は小さな合併の成果を取り上げ、本常に二町合併で良かったのかを検証していきたいと考えています。



小さな合併成果についての 検証を行う予定は

江寄 悟 議員

議員 質問に先立ち、今回の町議会議員選挙の総括をしてみました。投票率が前回に比べ六%も減じ、七五%となり、町議選への関心が下がりがり、争点の欠如が大きな原因と結論付けました。私の選挙も五〇か所の街頭演説で明確に二期目の方針を町民の皆様に見えることができなかったことを反省いたしております。これから四年間は、合併十年の節目を迎えるに当たって、小さな合併の検証と今後の氷川町にとって、八代市との合併も視野に入れた行政運営を検討すべきではないかとの思いで議員活動を行っていきたくと考えています。

そこで、一項目めに小さな合併の検証ですが、「お帰りなさいの声が聞こえる」顔の見えるまちづくりをしてこれらたでしょうか。この八年間は、三十九億円のインターチェンジや町民の利用が無い竜北公園に全力を注いでいられました。私は、これまでの四年

間の、生活道路整備優先や町内交通網の整備・高齢者福祉・ゴミ処理等の環境整備・人口減少対策・農業振興地域の見直し・小中高一貫教育などを提案してきましたが、残念ながら取り上げられず、本常に顔の見える小さな合併だろつかと疑問が湧いています。そこで合併成果についてどの様に考えておられるか伺います。
町長 まず、江寄議員さんと、また建設的議論をできることをお喜びいたします。議員も私も目指すものは一つで氷川町の発展と町民の皆様の幸せの追及です。地方自治が確立しているかについては自信がありませんが、それに向けてこれからも努力いたします。また、行政運営については、建設計画において住民や企業が主体となって、自ら考え決めて、行政と協働協調して進めることが大切です。まさに地区計画が、行政と住民が共同できるものと思います。地区要望も先延ばしせず、その要望に応じ達成して

いる自信を持っています。財政基盤の確立については、殆どが依存財源で厳しい状況に間違いありません。そついった中で、地区づくり応援助成を行も行っております。合併によって出てきた効果は人件費で二十二名の削減がなされ、百二十名となっております。それぞれの分野で所得を向上し自主財源の確保を図り、限られた財源を、効率的に使用しなければなりません。財政調整基金も十一億円から二十三億円に積み増しました。合併十年までに三十億円まで増やしたいと考えております。少子高齢化社会への対応についての質問ですが、次世代育成支援行動計画に基づき取り組んでいて子ども子育て会議を設置し住民の皆様の意見を聞き行政運営に反映しています。高齢者の方に対しては、いきいきサロンを全地区に普及させ、高齢者の皆さんの生きがいに繋がると思います。医療費や予防接種の助

成などの環境整備も行っています。
合併十年に向かって小さな合併の検証についてはしっかりと行わなければなりません。来年度、事務事業や職員定員管理などの行政評価に取り組みたいと思っています。
議員 合併十年の節目に町長からの行政評価を行うとの答弁を頂きました。今回、国の施策が大きく舵を変えようとしています。道州制の導入により単位自治体を十万人以上にし、いずれ八代市に権限を町から吸い上げられることも考えられます。少なくとも二年は頑張った小さな合併の中身を検証してもらいたい。
私は、高齢者福祉について地域の高齢者は、地域で支える流れではなく、行政が主体となって地域の方に応援してもらおう方法が必要ではないかと思っています。どこに主体性を持たせるかなども検討して頂きたい。
私は、この二年間は小さな合併の成果を取り上げ、本常に二町合併で良かったのかを検証していきたいと考えています。

八代市との合併を 検討するべきでは

議員 八代市との合併について検討するつもりはありませんか。
これは、八代市との合併についてのメリットやデメリットを一度検討し、本常に二町合併のままで良いのかを住民の皆さんに提示してもらいたい。
町長 現在、八代市と合併しなければならぬ懸念材料はありません。氷

川町が独立した自治体として存続できるよう努力いたします。
議員 私は、国が方向転換する中、単独で素晴らしいメリットが町民の方に説明できれば氷川町として頑張れるし、単独でメリットが多すぎれば八代市との合併検討も必要ではないかと考えています。

道路事業について

議員 里山地区の生活道路は、救急車や消防車の通行不能な道路がたくさんあり、生命財産等の安心安全面を考慮し、インフラの整備は緊急の課題であるが、どのように整備していくのか。
町長 救急車両も高規格化になり、通れないところも多数あります。地区の要望を踏まえ、なるべく早くできるように努力していきたいと思